

2023 年度化学教育賞・化学教育有功賞候補者推薦方法について (部会及びディビジョン推薦)

公益社団法人 日本化学会

1. 賞の対象

賞の対象は、表彰規程および化学教育賞等選考委員会規則により、次の通り定められている。

- (1) 化学教育賞は、原則として本会会員であって、国際的または全国的視野において化学教育上とくに顕著な業績または功績のあった者に授与する。
- (2) 化学教育有功賞は、本会会員に限らず、化学教育に従事し、その組織または地域において教育上顕著な業績または功績のあった者、もしくは独創的な着想に基づく教育や評価方法の考案によって教育上、顕著な貢献のあった者に授与する。

2. 提出書類 [返却しない] ※ (1) (2) は別紙様式を使用

- (1) 会長あて候補者推薦書
- (2) 候補者調書
 - ・候補者の履歴
 - ・業績内容の説明
 - ・業績リスト
- (3) 論文などの別刷、報告書等、また、候補者に対する他機関（例えば、新聞等）の評価を記したもののうち 5 点以内 ※※PDF 化できるもの

3. 書類執筆上の注意

別紙「候補者調書の作成にあたって」参照。

4. 推薦書の提出について

締切日および提出方法は推薦母体によって異なるので、部会またはディビジョンに確認すること。

5. 2023 年度選考委員会開催日

2023 年 11 月 7 日 (火)

6. 受賞者の発表および表彰

- (1) 受賞者の発表
本会ホームページにて受賞者および受賞題目を発表する。
その他、「化学と工業」、「化学と教育」3月号で関連記事を発表する。
- (2) 表彰
翌年 3 月の春季年会会期中の表彰式にて表彰を行う。

7. 受賞後にお願いしたいこと

翌年 3 月の春季年会会期中に受賞講演等を依頼する。

☆本会では、候補者推薦書の内容及び委員会での審議内容に関し、秘密を保持します。
なお、受賞者の方は受賞が決定するまで、公表を控えていただけますようお願いいたします。

【追記事項】

本賞受賞者は、同年度の長倉三郎賞受賞候補者になりますことをご承知おきください。
そのための事務的な手続き等は不要です。 以 上

化学教育賞・化学教育有功賞 候補者調書の作成にあたって

1. 別紙様式を使用。作成の場合は A4 判、余白は左右約 2.5 cm のこと。
2. フォントサイズはタイトルを除いて 10～12 ポイント、1 ページの行数は 40 字×40 行程度の横書きとすること。
3. 年号は全て西暦で統一すること。
4. 「会長あて候補者推薦書」を 1 頁目とし、以下「候補者の履歴」「業績内容の説明」「業績リスト」の順とし、用紙下部中央に通し頁を記入すること。
5. 「会長あて候補者推薦書」の推薦部会、部会長の欄および推薦ディビジョン、ディビジョン主査の欄は、推薦書作成者（または候補者）が記入すること。
6. 候補者氏名、勤務先と職名欄は日本語と英語を記載すること。

（記入例）

候補者氏名	(ふりがな) かがく たろう (日本語) 化学 太郎 (英語) Taro Kagaku	会員番号	
		生年月日	西暦 年 月 日
勤務先と職名	(日本語) 東京大学大学院理学系研究科化学専攻：教授 (英語) Department of Chemistry, Graduate School of Science, The University of Tokyo : Professor		

7. 「候補者の履歴」では、特に教育に従事した経歴を書くこと。
8. 「業績内容の説明」では、参考文献を別として 4 枚以内にまとめること。
化学教育賞 受賞の対象となる業績・功績内容および候補者が国際的、全国的に与えたインパクトなど。
化学教育有功賞 受賞対象となる業績、功績内容および候補者の化学教育における優秀性、候補者の特筆すべき点など（例えば特別な教育方法、評価方法や科学教育一般についてのアイデア、貢献、同僚や学生・生徒に与えた影響など）。
9. 「業績リスト」では、受賞対象となる事項に関連した論文、報文、総説、著書などのリスト（20 件以内）を記載する。下記例を参考に、論文、報文以外の総説、著書などは最後にまとめて記載すること。ただし、化学教育関係およびその他に分けること。また、候補者に対する他機関（例えば、新聞等）の評価を加えてもよい。
 [例] (10) 化学平衡の概念を理解させるための実験法の開発, 丸尾貢章,
 化学と教育, 37, 265 (1989)
 (11) 読売新聞, 2020 年 11 月 1 日付夕刊切抜

注) 推薦書は毎年更新していますので、2023年度のものを使用してください。

整理
番号

2023年度 化学教育賞・化学教育有功賞 候補者推薦書

(該当を○で囲んで下さい。)

年 月 日

日本化学会会長 殿

部会

部会長

または

ディビジョン

主査

下記の者を 化学教育賞 候補者として推薦します。
化学教育有功賞 (該当を○で囲んで下さい。)

候補者	候補者氏名	(ふりがな) (日本語) (英語)	会員別	会員 No. ・非会員
			生年月日	西暦 年 月 日
	勤務先と職名	(日本語) (英語)		
	勤務先所在地	〒 Tel. E-mail		
	最終学歴		学位	
	連絡先	勤務先・自宅 (どちらかに○印。自宅の場合のみ下記に記入)		
	現住所 (自宅)	〒 Tel. E-mail		
	賞の対象となる 具体事項	(和文、20字程度) (英文)		
過去における 受賞歴				
※受賞年(西暦), 賞名, 受賞題目の順				

(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

候補者の履歴（特に教育に従事した経歴）

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

業績内容の説明

化学教育賞 受賞の対象となる業績・功績内容および候補者が国際的、全国的に与えたインパクトなど。

化学教育有功賞 受賞対象となる業績、功績内容および候補者の化学教育における優秀性、候補者の特筆すべき点など（例えば特別な教育方法、評価方法や科学教育一般についてのアイデア、貢献、同僚や学生・生徒に与えた影響など）。

※参考文献を別として4枚以内にまとめること。

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

業績リスト

受賞対象となる事項に関連した論文、報文、総説、著書などのリスト（20件以内）。論文、報文以外の総説、著書などは最後にまとめて記載すること。ただし、化学教育関係およびその他に分けること。候補者に対する他機関（例えば、新聞等）の評価を加えてもよい。